TOFFY 2WAYチョッパー
品番：K-CH1

家庭用

もくじ

安全上のご注意..... 2
使用上のご注意..... 4
各部の名称..... 6
使用前の準備..... 8
つかいかた 9
・4 枚刃のつかいかた 9
・水切りおろしカッターの
　つかいかた 12
お手入れのしかた..... 16
故障かな?と思ったら..... 18
製品仕様..... 19
保証書 20

ユーザーズガイド

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品をお使いになる前に必ず本書をお読みいただき、正しくお使いください。
本書は読み終わったあと、大切に保管してください。

LADONNA

安全上のご注意　必ずお読みください

●必ずお守りください（安全にお使いいただくために）
本書では、お使いになる方や人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

⚠警告	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
⚠注意	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

●次の絵文字で、お守りいただきたい内容を説明しています。

⃠	⃠表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	❗表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

⚠警告

⃠ **本体（モーター部）を水につけたり、水をかけたりしてぬらさないでください。**
ショート・感電・火災の原因となります。

⃠ **ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。**
感電の原因となります。

⃠ **電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを乗せたり、はさみ込んだりしないでください。**
火災・感電の原因となります。

⃠ **電源コードや電源プラグが傷んでいるとき、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。**
感電・ショート・火災の原因となります。

⃠ **分解・修理・改造はしないでください。**
火災・感電・けがの原因となります。

⃠ **本体にピンや針金などの金属物など、異物を入れないでください。**
異常動作してけが・感電・故障の原因となります。

⃠ **子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用・保管しないでください。**
感電・けが・やけどの原因となります。

⃠ **温度の高いところや火気のあるところ、直射日光が当たるところでは使用・保管しないでください。**
故障・変形の原因となります。

⃠ **カッター・おろしカッターの突起部分に直接触れないでください。**
けがの原因となります。

❗ **交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。**
他の器具と併用するとコンセントが異常発熱して発火することがあります。

❗ **電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。**
感電・ショート・発火の原因となります。

❗ **電源プラグにホコリが付着している場合は拭き取ってください。**
ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因となります。

❗ **異常時（こげ臭い、発煙など）は電源プラグを抜き、使用をしないでください。**
火災・感電の原因となります。

⚠注意

本製品は一般家庭用です。業務用として使用しないでください。
火災・故障の原因となります。

破損や変形があるときは絶対に使用しないでください。
感電・けが・故障の原因となります。

不安定・滑りやすい場所や水気・振動に弱いところで使用しないでください。
故障・けがの原因となります。

使用後、電源コードを本体に巻き付けないでください。
コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードを束ねたまま使用しないでください。
熱を持ち、故障・火災の原因となります。

お手入れをするときは、研磨剤を含む洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシなどは絶対に使用しないでください。
傷がついたり、変色・変形・故障の原因となります。

定格容量以上材料を入れないでください。
故障・破損・けがの原因となります。

各容器に40°C以上の熱い材料を入れないでください。必ず食材を常温に冷ましてからご使用してください。
故障・破損・けがの原因となります。

各容器・各部品は冷凍庫や電子レンジやオーブンなどに入れないでください。
破損・けがの原因となります。

本体以外の水洗いできる部分は、熱湯をかけたり、食器洗浄機・食器乾燥機など使用しないでください。
変色・変形・劣化や破損などの原因になります。耐熱温度は各容器・各部品によって異なりますが40°C以上のお湯でお手入れすることはやめてください。

落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。
故障・破損・けが・感電の原因となります。

使用中は本体を移動させないでください。
故障・けがの原因となります。

調理以外に使用しないでください。
故障・けがの原因となります。

付属している専用部品以外は使用しないでください。
故障・けがの原因となります。

空運転は絶対にしないでください。
故障・破損の原因となります。

使用できない材料を使わないでください。
「調理できない材料」（4ページ）の材料は使用できません。

各容器にカッター・おろしカッターを取り付けたままで調理物を入れて保存しないでください。
部品の劣化・故障の原因となります。

割れたり、ヒビの入った容器は絶対に使用しないでください。
故障・破損・けがの原因となります。

使わないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災・故障の原因となります。

電源プラグを抜くときは必ず電源プラグを持って引き抜いてください。
故障・感電やショートの原因となります。

使用後は十分にお手入れして乾燥させてください。
使用後そのままにしておくと、カビやサビなどの原因となります。

材料投入時やお手入れのときは電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電・けがの原因となります。

カッター・おろしカッターに詰まった材料を取り出すときは、へらやスプーンなどで取り出してください。
けがの原因となります。

次ページにつづく▶▶

⚠注意

一回の使用時間は定格時間(4枚刃30秒、水切りおろしカッター40秒)以内にしてください。続けて使用する場合は5分以上休ませた後、再度ご使用ください。
故障・破損・発火の原因となります。

材料の入れすぎ、少なすぎにご注意ください。
破損・けがの原因となります。

キレが悪くなったり、カッター・おろしカッターに傷、損傷を見つけた際は使用するのを止め、新しいものと交換してください。
本体以外の各容器・各部品は消耗品です。

調理したものはできるだけ早く召し上がるか、次の加工に進んでください。そのまま保存はしないでください。
材料の腐敗の原因となります。

カッター・おろしカッターは必ず材料を入れる前に取り付けてください。

運転を止めるときは、カッター・おろしカッターが完全に停止したことを確認してから、本体をガラスボウルからはずしてください。
回転中に本体をはずすと、カッターつまみ・軸と本体の回転部の接合部分が削れ、部品の破損や故障の原因となります。

使用上のご注意

調理できない材料

以下の「調理できない材料」(×) を入れると、各容器・各部品などが破損し、本体故障の原因となります。

材料	4枚刃	水切りおろしカッター
ロックアイス(市販の氷)	×	×
家庭用の冷凍庫で作った角氷	○※1	×
冷凍された果物・野菜	○※2	×
粘り気の強い食材(山芋、やまと芋、つくね芋、長いも、とろろ芋など)	○※3	○
肉・魚類	○※4	×
泡立てやパンなどの生地作り	×	×
固いもの(生のじゃがいも、さつまいも、かぼちゃ、など)	×	×
乾物(朝鮮人参、ウコン、コーヒー豆、ごま、煮干、アーモンド、乾燥昆布、香辛料など)	×	×

○: 調理できます　×: 調理できません

※1 2.5cm角以上の氷は使用しないでください。
※2 冷凍された食材は、半解凍してからご使用ください。
※3 必ず液体と一緒にかくはんしてください。
※4 鶏皮、すじ肉、骨付き肉などは使用しないでください。

使用上のご注意

サーモスタット（温度調整器の働き）

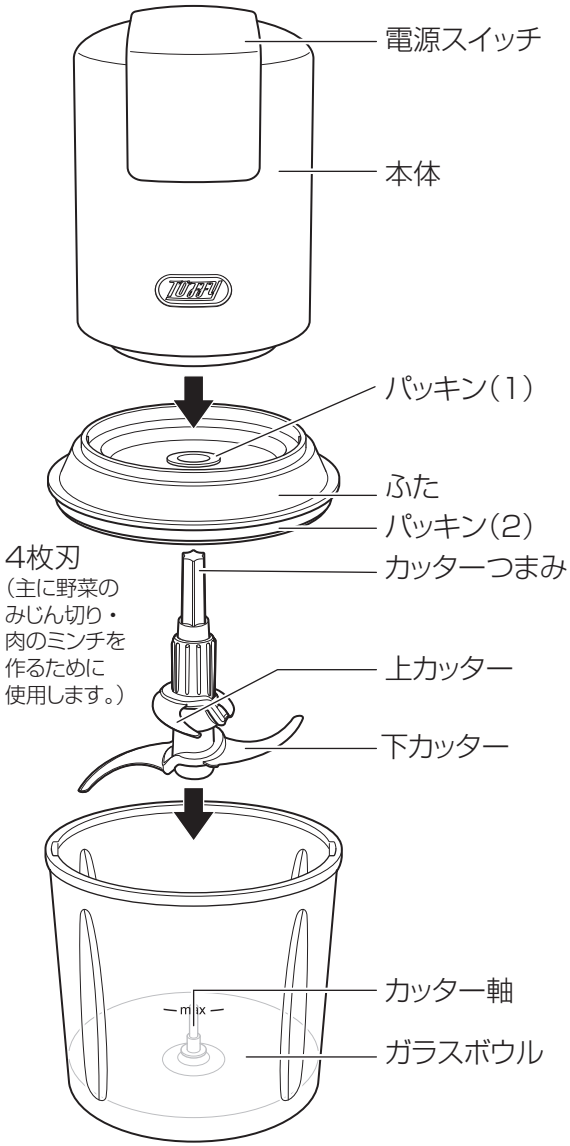
本製品には、モーターの過熱を防ぐため、自動的に電源が切れるサーモスタットが搭載されています。
一定時間以上連続して調理すると、この機能が働いて電源が切れます。

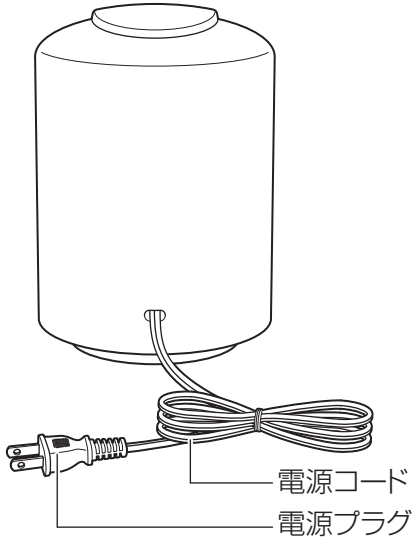
⚠注意

モーターに負荷がかかり過ぎると保護装置が働き一時停止します。停止した後は、以下の手順を厳守して取り扱ってください。

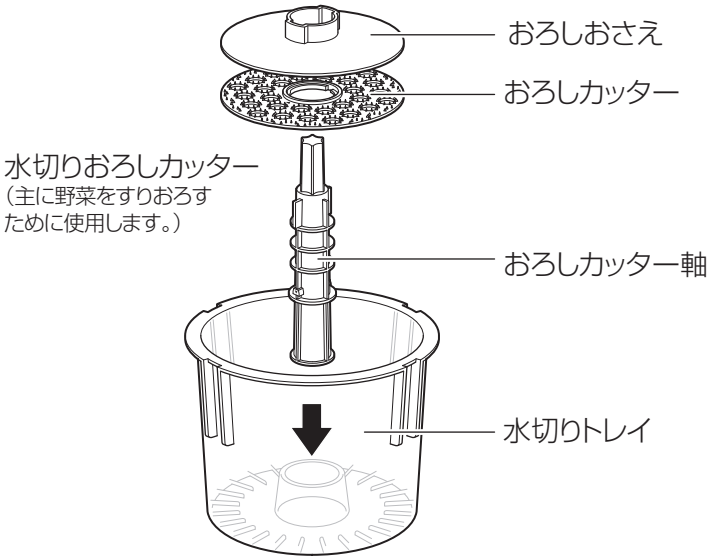
1. 電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. 本体をガラスボウルからはずしてください。
3. 本体を20分以上自然冷却してください。

各部の名称


電源スイッチ
本体
TOSHIBA
パッキン(1)
ふた
パッキン(2)
4枚刃
(主に野菜の
みじん切り・
肉のミンチを
作るために
使用します。)
カッターつまみ
上カッター
下カッター
mix
カッター軸
ガラスボウル


電源コード
電源プラグ

各部の名称


おろしおさえ
おろしカッター
水切りおろしカッター
（主に野菜をすりおろす
ために使用します。）
おろしカッター軸
水切りトレイ

使用前の準備

初めて使うとき、または長い間使用していないときは

本体以外を十分に洗って乾かしておいてください。

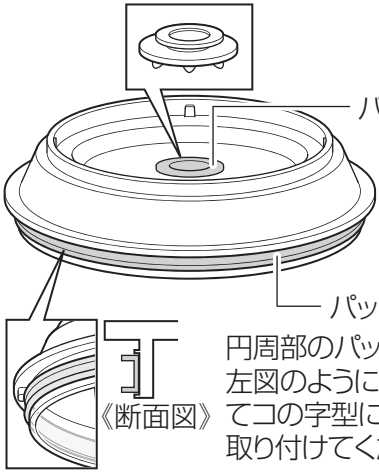
- 各容器・各部品は高温に耐えられないため、40°C以上のお湯で洗ったり、食器洗浄機、食器乾燥機などは使用しないでください。

⚠注意
- **カッター・おろしカッターの突起部分に直接触れないでください。**
  けがの原因になります。
- **本体は水につけることができないため、浸水しないよう十分気を付けてお手入れしてください。**
  故障の原因になります。

パッキンの取り付け

ふたの中心部分のパッキン(1)が確実にすき間なく取り付けられているか、ふたの円周部のパッキン(2)も正しく取り付けられているか確認してください。

- 液漏れ、パッキンの破損の原因となります。



円周部のパッキン(2)は、左図のように外側に対してコの字型になるように取り付けてください。

操作方法

連続プッシュ	材料がお望みの状態になるまで押し続けます。 材料を細かくしたり、なめらかにしたい時の操作方法です。
断続プッシュ	1回1秒程度を目安に、押す･離すを繰り返します。 硬い材料の粉砕や粗挽きにしたい時の操作方法です。

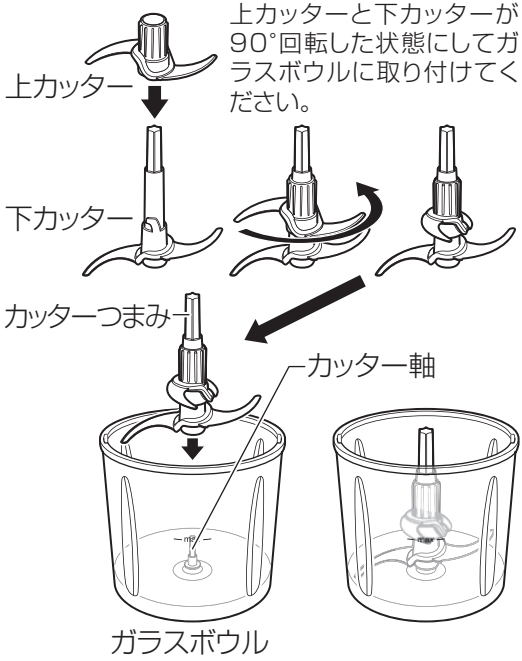
4枚刃のつかいかた

1. 4枚刃の上カッターと下カッターを組み合わせ、ガラスボウルに取り付けてください。

- 上カッターと下カッターを同じ向きで組み合わせ、上カッターを反時計回りに回し、取り付けてください。
- カッターつまみを持ち、取り付けられたカッターをガラスボウル中央部にあるカッター軸に差し込んでください。

⚠注意

- **上カッター・下カッターに直接触れないでください。**
  けがの原因となります。
- **カッターをカッター軸に取り付けてから、材料を入れてください。**
- **下カッターの底にある穴に異物が詰まっていないか確認してください。**
  故障の原因となります。

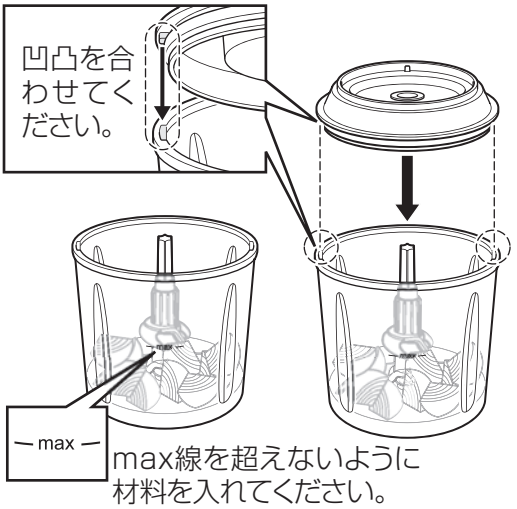


2. ガラスボウルに材料を入れて、ふたをしてください。

- ガラスボウルのふちにある凹部とふたにある凸部を合わせるようにしっかりと閉めてください。
- 一回に入れる材料と時間の目安は付属レシピブックをご参照ください。

⚠注意

ふたはガラスボウルに正しく取り付けてください。
凹凸を合わせ奥まではめ込むようにしてください。ガラスボウルとふたに隙間がある状態のまま使用すると、カッターが回らず、モーターが空回りし、故障･破損･けがの原因となります。



次ページにつづく▶▶

⚠注意

- **ガラスボウルのmax線を超えないように材料を入れてください。**
  量が多いときは、何回かに分けてご使用ください。
- **調理できない材料は4ページでご確認ください。**
  破損・故障の原因となります。
- **40°C以上の熱い材料を入れないでください。**
  必ず食材を常温に冷ましてからご使用ください。
  故障･破損･けが･やけどの原因となります。
- **材料の状態や種類によって多少調理時間に違いがあります。**
  付属レシピブックに記載の分量や時間の目安を参考にして、お使いの食材や調理器具によって調整してください。
- **材料の入れすぎ、少なすぎにご注意ください。**
  破損・けがの原因となります。
- **ジュースを作ったり、乾物を粉砕したりしないでください。**
  誤使用の場合、故障・破損の原因となります。

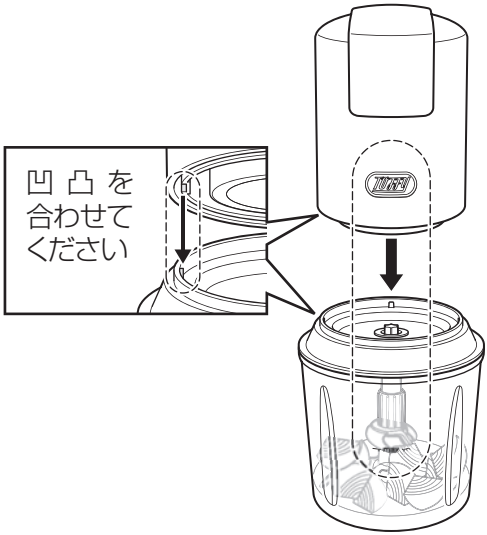
3. 本体をふたに合わせてのせてください。

本体の「Toffy」マークと「max」を合わせるように取り付けたあと、回転できない･固定されたことを確認してください。
（本体底面の凹部とふたの内側にある凸部を合わせるように取り付けてください。）

4. 本体の電源コードをコンセントに差し込んでください。

⚠注意

- **電源コードを束ねたまま使用しないでください。**
  コードが傷つき、感電・発火の原因となります。
- **電源スイッチを押した状態でコンセントに差し込むと通電し、作動しますので、ご注意ください。**



つかいかた（4枚刃）

5. 本体の電源スイッチを押して調理してください。

本体を押しているときのみ作動します。
手を離すと停止します。

- ガラスボウルの壁面に材料がついたときは、一旦ふたをはずしてスプーンなどで中に落として操作してください。

⚠注意

- **一回の使用時間（連続プッシュ、断続プッシュの合計時間）は定格時間30秒以内にしてください。**
- **材料の大きさによってカッターが回りにくくなる場合があります。断続プッシュで確認しながら操作してください。**
- **材料が大きすぎるとカッターが回転しないことがあります。**
  その場合は材料を小さく切って再度運転してください。
- **カッターに詰まった材料を取り出すときは、へらやスプーンなどで取り出してください。**
  けがの原因となります。
- **空運転を絶対しないでください。**
  故障･破損の原因となります。

⚠注意 **ご使用のときは、ガラスボウルがすべらないように、本体の電源スイッチを真上から押してください。**
故障･けがの原因となります。

6. 調理が終わったら、カッターが完全停止したことを確認し、コンセントから電源プラグを抜いてください。

コンセント接続のままにしておくと誤操作によりけがなどの原因になります。
※ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすることはしないでください。

7. 調理後は本体･ふた･カッターをはずし、調理物を取り出し、お手入れをしてください。

調理後そのままにしておくと、汚れが取れにくくなり、上カッター･下カッターなどに悪影響があります。

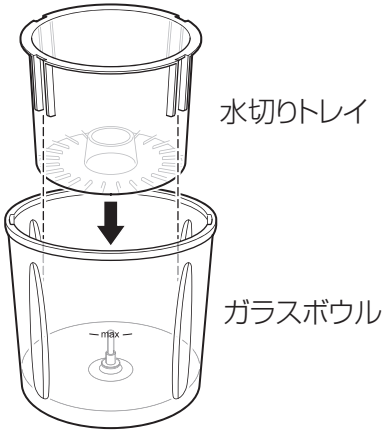
- カッターをはずすときは、ゆっくり行ってください。ガラスボウルの内容物がとび出すことがあります。

⚠注意

- **固い材料を調理するときは、カッターが破損することがあります。カッターを取り出した際に、カッターに傷、刃こぼれなどを発見された場合は破片が材料に混入している可能性がありますので、材料は使わずに廃棄してください。**
  けがの原因となります。
- **上カッター･下カッターに直接触れないでください。**
  けがの原因となります。

つかいかた(水切りおろしカッター)

水切りおろしカッターのつかいかた



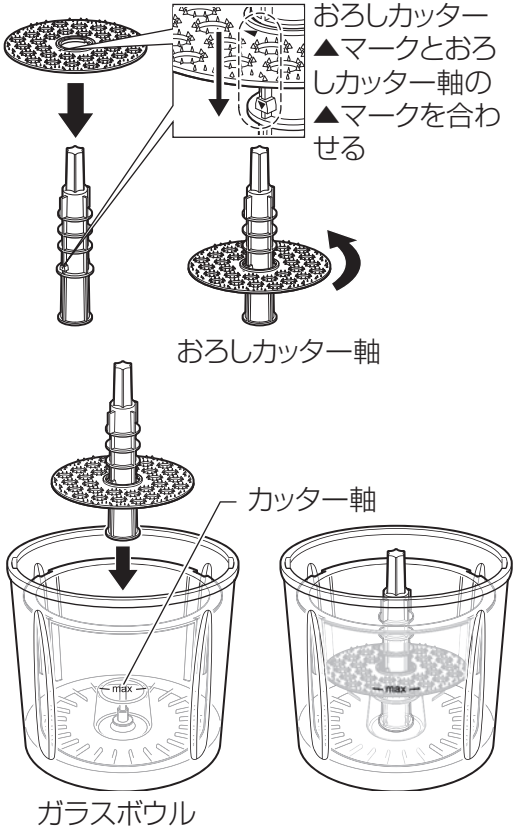
1. 水切りトレイをガラスボウルに取り付けてください。

- ガラスボウルの内側4か所にある、縦筋の突起に合わせて、水切りトレイを取り付けてください。
- 水切りトレイを取り付けたあと、回転できない・固定されたことを確認してください。故障・破損の原因となります。

2. おろしカッター軸におろしカッターを取り付けてから、ガラスボウルのカッター軸に取り付けてください。

右図のようにおろしカッターの▲マークのある面を上にして、おろしカッター軸の下部にある▲マークを合わせ、おろしカッターを反時計回りに回し、しっかり取り付けてください。

- 取り付けられたおろしカッター軸をガラスボウルのカッター軸に取り付けてください。



⚠注意	・**おろしカッターの突起部分に直接触れないでください。** けがの原因となります。 ・**取り付けられたおろしカッター軸をガラスボウル内にあるカッター軸に取り付けてから、材料を入れてください。** ・**おろしカッター軸の底にある穴に異物が詰まっていないか確認してください。** 故障の原因となります。

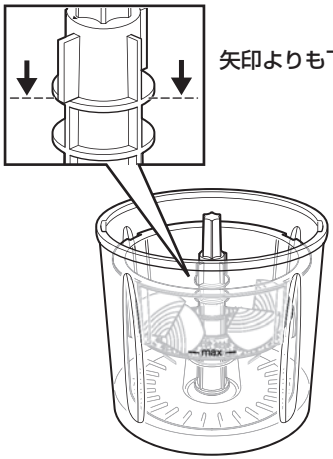
3. おろしカッターの上に材料をのせてください。

右図の矢印を超えないように、材料をのせてください。

- 材料は約１cm角以下に切ってから入れてください。

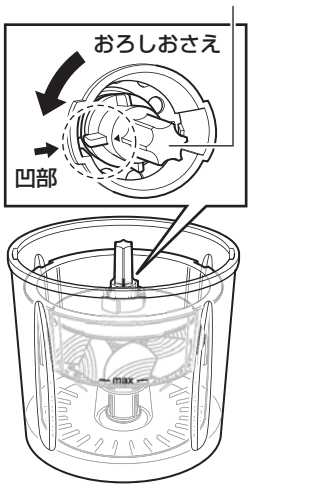
⚠注意

- **材料の入れすぎ、少なすぎにご注意ください。**
  破損・けがの原因となります。
- **40°C以上の熱い材料を入れないでください。必ず食材を常温に冷ましてからご使用ください。**
  故障・破損・けが・やけどの原因となります。
- **調理できない材料は4ページをご確認ください。**
  破損・故障の原因となります。



4. 材料の上におろしおさえを正しく取り付けてください。

右図のように、おろしカッター軸上部の▼マークと、おろしおさえの凹部を合わせるように、おろしカッター軸とおろしおさえを組み合わせてください。片手でおろしカッター軸を持ちながら、おろしおさえを反時計回りに回して、おろしおさえをロック（上に上がってこない状態に）してください。

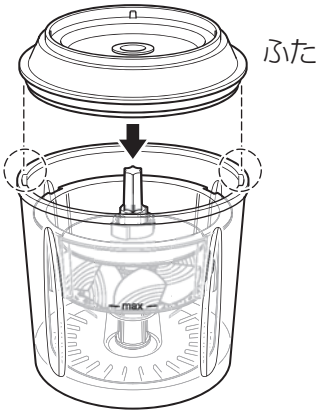


5. ふたをしてください。

- ガラスボウルのふちにある凹部とふたにある凸部を合わせるようにしっかりと閉めてください。

⚠注意

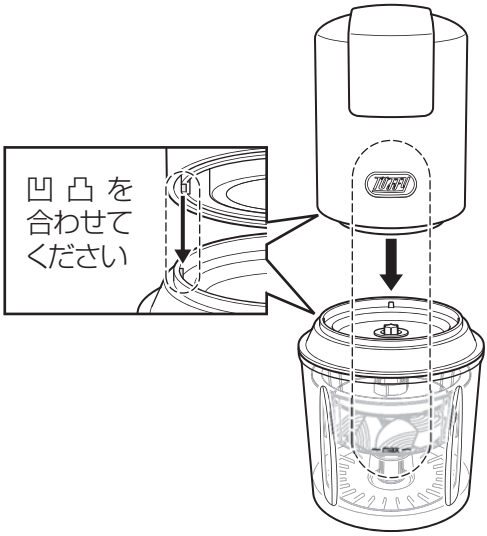
ふたはガラスボウルに正しく取り付けてください。
凹凸を合わせ奥まではめ込むようにしてください。ガラスボウルとふたに隙間がある状態のまま使用すると、カッターが回らず、モーターが空回りし、故障･破損･けがの原因となります。



次ページにつづく▶▶

6. 本体をふたに合わせてのせてください。

本体の「Toffy」マークと「max」を合わせるように取り付けたあと、回転できない･固定されたことを確認してください。
（本体底面の凹部とふたの内側にある凸部を合わせるように取り付けてください。）



7. 本体の電源コードをコンセントに差し込んでください。

⚠注意
- **電源コードを束ねたまま使用しないでください。**
  コードが傷つき、感電・発火の原因となります。
- **電源スイッチを押したまま電源プラグをコンセントに差し込むと通電し、作動しますので、ご注意ください。**

8. 本体の電源スイッチを押して調理してください。

本体を押しているときのみ作動します。
手を離すと停止します。

- 構造上、材料の状態や種類によって、完全にすりおろせず、多少おろしカッターの上に残ります。

⚠注意
- **一回の使用時間（連続プッシュ、断続プッシュの合計時間）は定格時間40秒以内にしてください。**
- **材料の大きさによってカッターが回りにくくなる場合があります。断続プッシュで確認しながら操作してください。**
- **材料が大きすぎるとカッターが回転しないことがあります。**
  その場合は材料を小さく切って再度運転してください。
- **空運転を絶対しないでください。**
  故障･破損の原因となります。

⚠注意 **ご使用のときは、ガラスボウルがすべらないように、本体の電源スイッチを真上から押してください。**
故障･けがの原因となります。

9. **調理が終わったら、おろしカッターが完全停止したことを確認し、コンセントから電源プラグを抜いてください。**

コンセント接続のままにしておくと誤操作によりけがなどの原因になります。
※ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすることはしないでください。

10. **調理後は本体・ふた・おろしおさえ・おろしカッター軸・おろしカッターをはずし、水切りトレーを取り出してください。次に、水切りトレーから調理物を取り出し、お手入れをしてください。**

水切りトレーを取り出すとき、水分が落ちるのでご注意ください。
調理後そのままにしておくと、汚れが取れにくくなり、おろしカッターなどに悪影響があります。

お手入れのしかた

安全にお使いいただくために、ご使用毎にお手入れしてください。

⚠注意
- **お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**
  感電・ショート・やけど・火災の原因になります。
- **お手入れをするときは、本体の温度が下がってから行ってください。**
- **本製品のお手入れに、台所用中性洗剤以外の洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、金属タワシなどは絶対に使用しないでください。**
  傷がついたり、変色したりする原因になります。
- **本体に直接水をかけないでください。**
  故障・やけど・火災の原因になります。
- **40°C以上の熱湯で洗ったり、食器洗浄機、食器乾燥機などは使用しないでください。**
  変形・破損の原因になります。

本体のお手入れ

1. よくしぼったふきんで、本体の汚れをきれいにふいてください。

長時間汚れたままにしておくと、汚れが取れなくなることがあります。

⚠注意 **本体は絶対に水につけないでください。**
故障・感電の原因になります。

2. お手入れ後は十分に乾燥させてください。

水分が残っていると、カビやサビの原因になります。

本体以外のお手入れ

1. 本体以外はすべて水洗いできますので、使用したものはすべて台所用中性洗剤とやわらかいスポンジを使って洗ってください。

長時間汚れたままにしておくと、汚れが取れなくなることがあります。

- 下カッターとおろしカッター軸の底にある穴に入り込んだ材料などをブラシで洗い流してください。
- パッキン(1)、パッキン(2)はふたからはずして洗ってください。

⚠注意
・上下カッターとおろしカッターの突起部分には触れないように十分注意して洗ってください。
・水切りおろしカッターの樹脂部品は、食材の色素が付着して変色することがあります。
使用後は早めにお手入れしてください。

2. お手入れ後は十分に乾燥させてください。

水分が残っていると、カビやサビの原因になります。

3 乾燥させたあと、パッキン(1)とパッキン(2)をふたに正しく取り付けてください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったときは、修理の依頼をされる前に、下記のことをお調べください。

こんなとき	原因	対処
電源スイッチを押しても動作しない	電源プラグがコンセントからはずれていませんか?	電源プラグをコンセントに取り付けてください。
	本体・各容器・各部品が正しく取り付けられていますか?	正しく取り付けてください。
モーターの動いている音がするが調理できない･調理時間が長い･振動が大きい	材料が多すぎませんか?	材料を少なくしてください。
	材料が大きすぎませんか?	材料を小さくしてください。
	材料が固すぎませんか?	固い材料を取り除いてください(調理できない材料は4ページをご確認ください)。
	材料が片寄っていませんか?	材料を均一にならしてください。
	カッターつまみの先端･おろしカッター軸の先端が変形･破損していませんか?	変形した場合は交換してください。
	ふたは正しく取り付けられていますか?	ふたを正しく取り付けてください。
材料があふれてくる	パッキンは正しく取り付けられていますか?	パッキンを正しく取り付けてください。
	材料が多くありませんか?	材料を少なくしてください。
カッターが空回転してしまう	材料の組み合わせなどにより、材料が容器まわりに付いてしまったり、分離することがあります。	一度上下に容器を振るなどして、材料を混ぜてください。
	材料が少なすぎませんか?	材料を多くしてください。
途中で止まってしまう	長時間(定格時間以上)使用していませんか?	本体を20分以上休ませてください。
材料がうまく混ざらない	材料が多すぎませんか?	材料を少なくしてください。
	材料が大きすぎませんか?	材料を小さくしてください。
	調理時間が短すぎませんか?	調理時間を長くしてください。
	ガラスボウルの壁面に材料がついていませんか?	一旦ふたをはずしてスプーンなどで中に落として操作してください。
材料がうまくすりおろせない	おろしおさえはロックしていますか?(材料が多すぎませんか?)	材料を減らし、おろしおさえを確実にロックさせてください。

こんなとき	原因	対処
材料がうまくすりおろせない	材料が固すぎませんか?	固い材料を取り除いてください(調理できない材料は4ページをご確認ください)。
	材料が大きすぎませんか?	材料を小さくしてください。

長期間ご使用の2WAYチョッパーは定期的な点検をお願いします

- 電源コードが異常に熱い。
- 電源コードに深い傷などがある。
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- カッターの破損、刃こぼれ、ヒビ割れなどがある。
- そのほか異常や故障がある。

このような症状が出たり発見したときには、すぐに使用を中止してください。

製品仕様

品名	Toffy 2WAYチョッパー
品番	K-CH1
本体寸法	約φ135×265(H)mm
電源	AC100V　50/60Hz
電源コード長	約0.8m
回転数（無負荷時）	約5,500回／分
生産国	中国

	4枚刃使用時	水切りおろしカッター使用時
定格消費電力	300W	110W
重量	約1,750g	約1,850g
定格容量	500ml	250ml
定格時間	30秒	40秒

付属品	水切りおろしカッター、レシピブック、ユーザーズガイド(保証書含む)

※商品改良のため、本製品の仕様やデザインは予告なく変更されることがあります。
※この商品は日本国内専用で、外国では使用できません。アフターサービスも対応できません。
(This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

お客様ご相談窓口 0570-024-389

※IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間　10:00～18:00(土・日・祝日を除く)

商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

個人情報のお取り扱いについて

株式会社ラドンナおよびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合せの際には品名・品番をご連絡ください。

株式会社ラドンナ
〒135-0031 東京都江東区佐賀1-5-9 永代MKビル
http://ladonna-co.net/
2017-①